

出合清水・今出川清水  
の名称（位置）について

講師 府中町文化財保護審議会 会長  
島根県立大学名誉教授 横田 禎昭

日時 平成24年11月17日（土）  
15:00～17:00

会場 くすのきプラザ1階 『ギャラリー』

府中町教育委員会事務局  
(社会教育課)

## 目 次

- 1 「出合清水」と「今出川清水」の位置について・・・・・・・・・・ 1
- 2 出合清水・今出川清水位置図（現在）・・・・・・・・・・ 2
- 3 安芸府中の文化第3集（安芸郡府中村寺社堂古跡帖）・・・・・・・・ 3
- 4 安芸府中の文化第6集（安永七年総社八幡差縄覚）・・・・・・・・ 5
- 5 藝藩通志（府中村の絵図）・・・・・・・・・・ 7
- 6 藝州巖島図会・・・・・・・・・・ 8
- 7 安芸郡和庄村より矢賀村迄道筋袖控・・・・・・・・・・ 9
- 8 藝州府中荘誌（今出川は石井城 坂本氏の下の泉なり）・・・・・・・・ 10
- 9 中国新聞 心の歳時記・・・・・・・・・・ 12

## 「出合清水」と「今出川清水」の位置について

### 1 誤った名称が広まった背景

- ・ 両湧水は、その名称を昭和 44 年（1969 年）に取り違えて『広報ふちゅう』や『安芸府中町史』に掲載したことから、誤った名称が広まった。（どのような経緯で誤認が生じたかは不明）
- ・ その後「出合清水」が昭和 60 年（1985 年）に環境庁の名水百選に選定されたこと、現地に当教育委員会が案内板を設置したことにより、誤認が広まった。
- ・ 当初の誤認からすでに 28 年以上経過し、誤った「名称」が定着しつつあるが、少なくとも 300 年にわたり先人たちが呼んでいた経緯がある。

### 2 名称が入れ替わったとする根拠

両湧水の名称が入れ替わっていることは、1712 年の古文書をはじめとし、数多くの文献で確認することができる。

現在「出合清水」と呼ばれている湧水を湧水 A、「今出川清水」と呼ばれている湧水を湧水 B としてその位置についての記録を列挙する。

- ①正徳 2 年（1712 年）の『安芸府中村寺社堂古跡帖』……………（資料 1）  
「出合＝出井」、「今出川＝東ノ川」と呼ばれていることが確認できる。  
ただし、両者の位置についての記述はない。
- ②『安永七年総社八幡差縄覚』（1778 年）……………（資料 2）
- ③文政 8 年（1825 年）の『藝藩通志』所載府中村の絵図……………（資料 3）  
湧水 A＝「今出川清水」 湧水 B＝「出合清水」
- ④天保 13 年（1842 年）に書かれた『藝州巖島図会』……………（資料 4）  
湧水 B＝「出井清水」
- ⑤江戸末期の『安芸郡和庄村より矢賀村迄道筋袖控』（大呑文書 現在の地図との対比）  
湧水 A＝「今出川清水」 湧水 B＝「出合清水」……………（資料 5）
- ⑥昭和 7 年（1932 年）発行の菅原守編『藝州府中荘誌』……………（資料 6）  
湧水 A＝「今出川清水」
- ⑦昭和 49 年（1974 年）6 月 26 日付中国新聞「心の歳時記」の記事……………（資料 7）  
湧水 A＝「今出川清水」